

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



8月の銅の概況及び9月の見通し (3)

	予想レンジ	
LMEセツル	8,000-9,500ドル	●
建値	116万円-147万円	●
為替	140円~150円	円安
(1か月間TTM)		

■国内概況まとめ

【自動車】

【自動車生産】

生産動態統計によると7月の自動車生産台数は前年比+2.9%の76万4,547台。輸出は前年同月比-2.8%の35万9,665台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると8月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-2.4%の20万8,683台。

【住宅着工戸数】

7月の新設住宅着工は、貸家が増加したが、持家、分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比0.2%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比1.0%の増加となった。

【伸銅品生産】

銅糸：同比4ヶ月連続のプラス。好調だった2021年22年の生産量に少しずつ迫ってきた。自動車端子コネクタ向け順調に伸びている。半導体向けは、海外において、一部回復の動きが見えてきている。ただ、どの民製品の回復なのか、伸銅品メーカーでもまだつかめていない。JEITAなどの情報から、オリンピックに関連したオーディオなどの民生品の需要回復かも知れない。

黄銅棒：同比31ヶ月ぶりプラス。ただ、新規住宅着工件数が伸びない。リフォーム関係も非接触の水栓周りが伸びているが、ガス機器向けの需要が回復しない。自動車の不正問題の影響も受けている。

【電線】

前年比-1.3%の51,200 t。

内訳は国内が-1.8%、輸出が+31.1%。

【輸出】

電気銅は-12.6%の5万5,479 t。

スクラップは-22%の2万6,605 t。

【輸入】

電気銅は-55.6%の323 t。

スクラップは+45.5%の1万5,571 t。

【見通し】

【自動車】

7月の自動車生産が+2.9%。8月国内販売台数が前年比-2.4%。販売が再び増加、生産は反転増加。ここ数カ月増加減少が交錯しており来月以降もその繰り返し。

【伸銅品生産】

7月伸銅品生産量速報値は5万8,470トン、前年同月比10.1%増加した。前年同月よりも稼働日が多かったこともあり、14品目中12品目が前年同月実績を上回った。6月以降の新たな自動車のデータ不正問題に対する国内自動車減産の影響は、また一部の品目に限られており、自動車向けの端子コネクタへの影響見えない。半導体は、海外において一部の需要が回復してきているようだが、情報家電など主力製品向けの需要回復が見えてきていない。

エアコンは、引き続きルームエアコンが必要期で好調だが、人手不足から大型物件や店舗向けのエアコンの回復が遅れている。

【電線】

前年比-1.3%の51,200 t。

内訳は国内が-1.8%、輸出が+31.1%。

2カ月連続減少、今後に注視。

【スクラップ景況予想】

流通【一次問屋】銅建値が142万から137万へ下落。

前月在庫は伸銅品生産減、発生減から在庫薄だが相場急落により売れず買えずの膠着状態。需要面に関しても膠着状態。伸銅品生産量はプラスに反転。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。

①米FRBの金融政策

パウエルFRB議長が23日に行った講演で政策を調整する「時期が来た」とし、9月に利下げに着手する可能性を示唆。むしろ最初の利下げ幅がどの程度になるかに注視したい。

これらを踏まえた今月の銅価格は8,000-9,500ドル(セツル)との予想。

ドル円値は140円~150円(TTM)台を予測。

銅建値に関しては116万-147万円程度と予測。

(「8月の銅の概況及び9月の見通し」おわり)

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで

Ogico OHGIZANI Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530

東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800

名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005

海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>